

事業所名 児童発達支援 北風と太陽 春日井

支援プログラム

作成日

令和6年

12月

25日

法人（事業所）理念		利用者様一人一人の個性を大切にしながら心の安らぐ場所、元気で楽しくすごせる場所を提供する。 ご本人様や関係されるすべての方に「来てよかった」と言っていただけの施設、環境、支援作りを目指す。					
支援方針		小集団で毎日幅広いジャンルの活動を行い、生活面・運動・社会性やコミュニケーション等、様々な力を養う。 利用者様が自立に向けた活動プログラムに取り組むことが出来るよう工夫し、個に応じた療育を行う。					
営業時間		10時	0分	19時	0分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	保育園等、集団での生活に対する習慣を身に付けたり、体力作りを目的とする。 体を動かす活動や外出活動などを通して、楽しく養ってもらおう。 楽しく食事をすることができるよう、咀嚼・嚥下等の支援を行う。 手洗いや排泄などの生活に必要な事柄のトレーニングを各関係機関全般で共通して行い、基本的な生活が出来るよう自立を目指す。					
	運動・感覚	指先の感覚や、身体の使い方など、それぞれの利用者様の課題にあった支援を提供する。 運動能力や感覚の課題によって活動内容をグループ分けするなどして、一人一人に合った支援を行う。 工作などの活動を通して、指先を使いトレーニングになるような工夫を行う。 集団体操等のプログラムにより、基礎体力や筋力作りを行い、姿勢保持と運動・動作の改善及び習得を行う。					
	認知・行動	次にやることの見通しが立つような声掛けや、場面ごとの切り替えが円滑にできるよう、今何をすべきかが分かるような支援を行う。 色やマークでの判断、ジェスチャーでの理解、声掛けで行動が出来るなど、利用者様によって様々な特性があるので、各利用者様が認知できるような支援を行う。 数量、形の大きさ等の取得のための支援を行う。 集団での行動を行うにあたって、人との適切な距離感や、時間感覚、自分の欲求通りにはいかない時もあることを理解し、コントロールできるような環境作りを行う。					
	言語 コミュニケーション	絵本を一緒に読む、読み書きを一緒に行うなど言語に関する活動内容を組み込んで、発語を促す。 言葉遊びやレクリエーションでの会話、事業所内での環境作りを工夫し文字に触れる機会を増やすことで、楽しく語彙力を高めていく。 友達や職員との会話を通してコミュニケーションを練習していき、喧嘩や不快な発言が起きてしまった時には、なぜそれがいけない事であったのか理解してもらえるような支援を行う。 指さし、サイン等を用いて、意思伝達や環境の理解はできるよう支援を行う。					
	人間関係 社会性	集団生活をするにあたって、必要なスキルを身に付けてもらう。 基本的に小集団での活動を行う事で、コミュニケーションやルールを守る重要性などを理解できるよう支援を行う。 ルールやマナーなどの社会性を身に付けてもらい、事業所外での各関係機関での集団生活で困ることが無いように練習の場として活用して頂く。 遊び等から人の動きを模倣し、社会性や対人関係の発達の支援を行う。					
家族支援		送迎時や電話連絡を用いて、ご家族や各関係機関との連携を円滑に行う。 連絡事項の共有や、各施設やご家庭での利用者様の様子、保護者様の悩みなど幅広く相談を受けご家族様のニーズにお応えする。			移行支援		現在の利用者様の特性や生活状況を踏まえて、どういった移行をしていくのが良いか、各関係機関や保護者様に対して助言や相談を受けることが出来る体制を整える。
地域支援・地域連携		日常的に相談支援事業所様や、社会福祉協議会様のような関係機関との連携を図り相談の機会を設ける。利用者様に対して地域で支援が行えるよう、ネットワークを構築する。			職員の質の向上		毎月月間研修を行うことにより、支援の質の向上を職員一同努める。 外部研修にも積極的に参加を行い、得てきた情報を共有する時間を設け、参加できていない職員にも情報の共有を行う。
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所交流（春日井店・豊山店・小牧店） ・季節ごとのイベント（夏祭り・ハロウィンパーティー・クリスマス会など） ・子ども食堂への参加 ・外出活動 					

事業所名 放課後等デイサービス 北風と太陽 春日井

支援プログラム

作成日

令和6年

12月

25日

法人（事業所）理念		利用者様一人一人の個性を大切にしながら心の安らぐ場所、元気で楽しくすごせる場所を提供する。 ご本人様や関係されるすべての方に「来てよかった」と言っていただけの施設、環境、支援作りを目指す。					
支援方針		小集団で毎日幅広いジャンルの活動を行い、生活面・運動・社会性やコミュニケーション等、様々な力を養う。 利用者様が自立に向けた活動プログラムに取り組むことが出来るよう工夫し、個に応じた療育を行う。					
営業時間		10時	0分	19時	0分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人 支 援	健康・生活	学校等、集団での生活に対する習慣を身に付けたり、体力作りを目的とする。 体を動かす活動や外出活動などを通して、楽しく養ってもらう。 構造化等の生活環境を整える生活の中で様々な遊びを通じて。 手洗いや排泄などの生活に必要な事柄のトレーニングを各関係機関全般で共通して行い、基本的な生活が出来るよう自立を目指す。					
	運動・感覚	指先の感覚や、身体の使い方など、それぞれの利用者様の課題にあった支援を提供する。 運動能力や感覚の課題によって活動内容をグループ分けするなどして、一人一人に合った支援を行う。 工作などの活動を通して、指先を使いトレーニングになるような工夫を行う。 集団体操等のプログラムにより、姿勢保持と運動・動作の改善及び習得を行い、基礎体力や筋力作り・身体能力の向上のための支援を行う。					
	認知・行動	次にやることの見通しが立つような声掛けや、場面ごとの切り替えが円滑にできるよう、今何をすべきかが分かるような支援を行う。 色やマークでの判断、ジェスチャーでの理解、声掛けで行動が出来るなど、利用者様によって様々な特性があるので、各利用者様が認知できるような支援を行う。 集団での行動を行うにあたって、人との適切な距離感や、時間感覚、自分の欲求通りにはいかない時もあることを理解し、コントロールできるような環境作りを行う。 相手の意図の理解や自分の考えを伝えることができるような支援を行う。					
	言語 コミュニケーション	読み書きを一緒に行うなど言語に関する活動内容を組み込んで、発語を促す。 言葉遊びやレクリエーションでの会話、事業所内での環境作りを工夫し文字に触れる機会を増やすことで、楽しく語彙力を高めていく。 友達や職員との会話を通してコミュニケーションを練習していき、喧嘩や不快な発言が起きてしまった時には、なぜそれがいけない事であったのか理解してもらえるような支援を行う。 適切な言葉使いや、自分の気持ちを伝える等のコミュニケーションを取ることができるよう、声掛け等を行っていく。					
	人間関係 社会性	集団生活をするにあたって、必要なスキルを身に付けてもらう。 基本的に小集団での活動を行う事で、コミュニケーションやルールを守る重要性などを理解できるように支援を行う。 ルールやマナーなどの社会性を身に付けてもらい、事業所外での各関係機関での集団生活で困ることが無いように練習の場として活用して頂く。 他者とのコミュニケーションの中で大人を介入して自己理解や自己コントロールをしていくことができるよう支援を行っていく。					
家族支援		送迎時や電話連絡を用いて、ご家族や各関係機関との連携を円滑に行う。 連絡事項の共有や、各施設やご家庭での利用者様の様子、保護者様の悩みなど 幅広く相談を受けご家族様のニーズにお応えする。			移行支援		現在の利用者様の特性や生活状況を踏まえて、どういった移行をしていくのが良いか、各関係機関や保護者様に対して助言や相談を受けることが出来る体制を整える。
地域支援・地域連携		日常的に相談支援事業所様や、社会福祉協議会様のような関係機関との連携を図り相談の機会を設ける。利用者様に対して地域で支援が行えるよう、ネットワークを構築する。			職員の質の向上		毎月月間研修を行うことにより、支援の質の向上を職員一同努める。 外部研修にも積極的に参加を行い、得てきた情報を共有する時間を設け、参加できていない職員にも情報の共有を行う。
主な行事等		・事業所交流（春日井店・豊山店・小牧店） ・こども食堂への参加 ・外出活動			・季節ごとのイベント （夏祭り・ハロウィンパーティー・クリスマス会など）		